

指定管理者が行う公の施設の管理状況報告(令和6年度分)

<県の評価等>

施設所管部名 地域連携・交通部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿(鈴鹿市御園町1669番地) 三重交通G スポーツの杜 伊勢(伊勢市宇治館町510番地)
指定管理者の名称等	三重県スポーツ協会グループ 代表者 公益財団法人三重県スポーツ協会 理事長 木平 芳定 (鈴鹿市御園町1669番地 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿内)
指定の期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	① 事業実施に関する業務 ② 施設等の利用の許可等に関する業務 ③ 利用料金の收受等に関する業務 ④ 施設等の維持管理及び修繕に関する業務 ⑤ 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿及び三重交通G スポーツの杜 伊勢の管理上必要と認める業務

2 施設設置者としての県の評価

※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	R5	R6	R5	R6	
1 管理業務の実施状況	B	B			競技団体等との利用調整会議を開催し、各種大会の開催及び円滑な運営を行っている。 日常点検を行い、施設の異常箇所の早期発見に努め、必要に応じ修繕を行うなど、良好な施設環境の提供に努めている。 緊急事態に備えるため、危機管理の徹底と定期的な実地訓練を行うなど、緊急事態発生時の体制を意識した取組を行っている。 「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」に基づき、不当な差別やその他人権侵害行為が行われないように努めている。
2 施設の利用状況	B	B			年間利用者数について、三重交通G スポーツの杜 鈴鹿は、576,868人(対前年度比61,189人増)、三重交通G スポーツの杜 伊勢は、335,135人(対前年度比9,181人増)であった。 主催事業であるスポーツ教室等について、鈴鹿では487講座(対前年度比29講座増)、伊勢では115講座(対前年度比5講座増)を開講した。
3 成果目標及びその実績	B	B			年間利用者数について、三重交通G スポーツの杜 鈴鹿は、目標558,000人に対して576,868人と目標を達成した。三重交通G スポーツの杜 伊勢は、体育館の空調設備の故障による利用キャンセルの影響もあり、目標408,000人に対して335,135人と、目標を達成できなかった。 スポーツ教室をはじめとした主催事業を開催するなど、利用促進に積極的に取り組んだことで、両施設とも令和5年度の利用者数を上回った。

※「評価の項目」の県の評価

「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総括的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・競技団体等との利用調整業務、利用許可や料金收受業務、施設の維持管理及び修繕等に関する業務を適切に実施している。 ・開館時間の前倒しや利用時間の延長を行うなど、利用者のサービス及び利便性の向上に努めている。 ・利用者のニーズに応じたスポーツ教室を開催するなど、スポーツの推進に貢献している。 ・収支状況を考慮しながら、必要競技器具の補充及び修繕を実施し、利用環境の改善に努めている。 ・年間利用者数において、三重交通G スポーツの杜 鈴鹿は目標を上回った。三重交通G スポーツの杜 伊勢は空調設備の故障による利用キャンセル等から、目標を達成できなかったものの、主催事業の実施等による利用者の増加に努めている。 <p>総合的に見て、適切な指定管理業務を実施しており、指定管理者の自己評価は妥当と思われる。</p>
--------	---

＜指定管理者の評価・報告書(令和6年度分)＞

指定管理者の名称: 三重県スポーツ協会グループ

1 管理業務の実施状況及び利用状況

(1) 管理業務の実施状況	
① 管理運営事業の実施に関する業務	
<p>ア 管理施設を利用する競技団体等との利用調整会議を開催し、各個人等の開催及び円滑な運営に努めた。</p> <p>イ 利用規程を定め、施設及び設備の利用許可業務を適正に行った。また、利用規程は所管課の承認を得たうえで随時改定を行い、可能な限り利用者の要望等に対応することで、利用しやすい施設の提供に努めた。</p> <p>ウ 職員、業務委託業者を交えて、災害発生を想定した訓練を6月と12月の場内整備時に行った。</p> <p>エ 利用拡大を目的とした広報活動として、ホームページでの案内、イベントチラシの市報への折込、スポーツ教室募集の市報掲載などを行い、施設のPRに努めた。デジタルサイネージを最大限に活用し、当施設利用のアスリートを紹介して「世界に繋がるプール」をアピールしたほか、地元中学生の職場体験学習やスポーツ教室の様子等を発信した。</p> <p>オ 最寄のバス停留所から本施設敷地内への無料シャトルバスを独自で運行し、利用者の利便性の向上に努めた。</p> <p>カ 利用者満足度調査の実施及び「ひと声カードポスト」の設置により、施設運営の要望・スポーツ教室等の実施内容について意見を収集し、速やかな対応を行った。</p> <p>キ 大型集客試合の開催日には、ホームページやSNSを活用して、乗り合わせ来場や施設外臨時駐車場の利用、主催者シャトルバスの利用を促し、施設内駐車場不足の対応を行った。</p> <p>ク 利用者サービスの低下しないよう改善しながら、省エネ・節電等を徹底し、コスト削減を図った。</p>	
② 施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務	
<p>ア 利用者に良質で安全かつ清潔な施設を提供するため、清掃・始業前点検・器具備品点検・施設点検を行った。異常箇所を発見した場合は、当該の施設あるいは器具を使用中止とし、異常箇所の点検や修理を速やかに行った。</p> <p>イ 全スタッフが出席する所内会議を休業日に実施し、施設・設備に関する状況報告、管理運営に関する懸案事項の報告を行い、対応について検討、確認した。</p> <p>ウ 競技団体の要望に対して、収支状況を考慮しながら必要競技器具の補充及び修繕を実施した。</p> <p>エ 老朽化した木製イスを撤去したうえで新たにベンチを設置するなど、利用環境の改善とサービスの充実を図った。</p>	
③ 県施策への配慮に関する業務	
<p>ア 競技力向上の拠点施設としての役割を果たすため、加盟競技団体と連携し、大規模大会の開催やトップアスリート選手・国スポ強化選手の合宿の受入れを行った。</p> <p>イ 「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」に基づき、不当な差別やその他人権侵害行為が行われないよう努めた。</p> <p>【三重交通G スポーツの杜 鈴鹿】</p> <p>ア スポーツ教室を487講座開催し、延べ27,533人の参加があった。</p> <p>イ 入場券のみで参加できるワンポイントレッスンを83回開催し、延べ827人の参加があった。</p> <p>ウ 本協会加盟の競技団体と連携し、多くの県民が誰でも気軽に参加できるよう、6競技の鈴鹿スポーツガーデンカップを開催した。(ソフトテニス、ラグビーフットボール、水泳、フットサル、テニス、サッカー)</p> <p>エ テニスコートの定期利用者の拡大を目的にサークルの登録制度を設け、使用料の一括精算や継続利用のための環境整備を行うなど、サークル活動の支援を行った。(サークル登録数: 187団体)</p> <p>オ 施設のPRとしてフリーマーケットを開催した。</p> <p>カ 地域への理解促進のために、地域行事に積極的に協力した。</p> <p>【三重交通G スポーツの杜 伊勢】</p> <p>ア スポーツ教室を前・中・後期の三期に分け、115講座開催し、延べ1,947人の参加があった。</p> <p>イ 近隣住民やスポーツ愛好家の方々に施設のPRと日ごろの利用に対する感謝を目的として、施設を開放するとともに各種イベントを実施する感謝フェスティバルを令和6年度も開催した。伊勢ロープレスキューチームによる救助訓練の実践と体験、ものづくり体験、ヨガ体験を実施したほか、小学生を対象にした「陸上教室」「少年ミニサッカー大会」をはじめ、「ヨーヨー釣り」「パターゴルフ」など親子で楽しめる催しを行った。</p> <p>ウ 三重とこわか健康マイレージ事業の「マイレージ特典協力店」に登録し、健康増進事業への協力を努めた。</p>	
④ 情報公開・個人情報保護に関する業務	
<p>ア 情報公開について、公益財団法人三重県スポーツ協会情報公開実施要領に基づき取り扱っている。なお、令和6年度における開示請求はなかった。</p> <p>イ 個人情報について、公益財団法人三重県スポーツ協会個人情報保護実施要領に基づき取り扱っている。また、個人情報保護方針をホームページへ掲載するとともに、教室申込書などには個人情報の取扱いについて明示している。さらに、各施設で保管している施設利用申請書、スポーツ教室参加者名簿、施設顧客名簿等の個人情報が記載された文書や電子データが外部へ漏洩しないよう、全職員で厳重に注意し取り扱っている。</p> <p>ウ 所内会議で個人情報の取扱いをテーマとして、制度の正しい理解と運用ができるように研修を行った。</p>	
⑤ その他の業務	
<p>ア 利用拡大の一環として、近隣企業・自治体などの福利厚生事業との提携を継続実施した。</p> <p>イ 地域との連携強化として、施設が設置されている鈴鹿・伊勢の両市がそれぞれ開催するイベント等に協力した。</p>	

(2) 施設の利用状況			
成果目標	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿	558,000人/年間	
	三重交通G スポーツの杜 伊勢	408,000人/年間	
実績	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿	576,868人/年間	達成率 103.4%
	三重交通G スポーツの杜 伊勢	335,135人/年間	達成率 82.1%

2 利用料金の収入の実績

指定管理施設収入	189,857,420			
内訳				
三重交通G スポーツの杜 鈴鹿	144,706,403	三重交通G スポーツの杜 伊勢	45,151,017	
施設利用料収入	104,040,377	施設利用料収入	33,200,237	
参加料収入	35,855,250	参加料収入	11,302,500	
その他収入	4,810,776	その他収入	648,280	

3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位:円)

収入の部			支出の部		
	R5	R6		R5	R6
指定管理料	422,774,415	504,571,252	事業費	34,141,580	33,610,843
利用料金収入	135,383,225	137,240,614	管理費	572,344,321	642,220,339
その他の収入	61,511,138	57,201,187	その他の支出	3,117,851	9,086,733
合計 (a)	619,668,778	699,013,053	合計 (b)	609,603,752	684,917,915
収支差額 (a)-(b)	10,065,026	14,095,138	※指定管理者が変わった場合、前年度の収支状況には斜線を記入しています。		

※参考

利用料金減免額	3,224,075
内訳	
三重交通G スポーツの杜 鈴鹿	2,996,605
三重交通G スポーツの杜 伊勢	227,470

4 成果目標とその実績

成果目標	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 558,000人/年間 三重交通G スポーツの杜 伊勢 408,000人/年間
成果目標に対する実績	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 576,868人/年間 達成率 103.4% 三重交通G スポーツの杜 伊勢 335,135人/年間 達成率 82.1%
今後の取組方針	<p>・オープンスペースの有効活用を目的に設定したウォーキングコースの活用、健康器具の設置、地元自治会に対するグラウンドゴルフ等の平日利用案内、体育館の卓球等の一般開放など、平日利用の増大に取り組み、利用者数の増加を図る。</p> <p>・生涯スポーツの振興と競技力向上の拠点となる総合的スポーツ施設である両施設を一体的に管理することにより、全国規模の大会を開催できるよう、関係機関及び本協会加盟団体との協力体制のもと細かな調整を行う。</p> <p>【三重交通G スポーツの杜 鈴鹿】</p> <p>・可能な範囲で営業日や大会終了後に開館時間を確保することで、一般利用者が施設を利用しスポーツに触れる機会を増やす。</p> <p>・利用の形態に応じた貸館業務手続きを実施し、簡易な方法となるよう努めるとともに、中長期的には、水泳場、サッカー・ラグビー場、体育館において施設予約管理にデジタルのシステムを導入する。</p> <p>・独自財源で整備したスポーツガーデン「Mie Spo Inn」(ホテル・温泉・レストランがある宿泊施設)を活用したサービスを実施することで、更なる利用者サービスの向上に努める。また、全国の大学生による合同合宿が定例化しており、引き続き「Mie Spo Inn」との協同事業として、PRを充実させる。</p> <p>・水泳場においては、利用者がパリオリンピック・世界水泳大会等世界大会出場者として活躍していることから、世界に繋がる施設として広報活動をさらに充実する。</p> <p>【三重交通G スポーツの杜 伊勢】</p> <p>・関係団体及びトレーニングセンターの利用拡大のため、広報活動に努めるとともに、選手強化及びスポーツに親しめる施設としての運営に努める。多目的広場については、主にハンマー投げの練習会場として利用されているが、サッカー・野球・グラウンドゴルフ等についても利用してもらえよう周知するとともに、大会開催時等の特設駐車場としても活用し、スムーズな大会運営を行っていく。</p> <p>・体育館については令和6年8月から空調設備が使用できない状況にあるため、スポーツ推進課と今後の対応について協議を進めていきたい。</p> <p>・トレーニングセンターでは多くの利用者から要望やご意見が寄せられるため、利用者のニーズに可能な限り応えながら利用者拡大に向けた取組を進めていきたい。</p>

5 管理業務に関する自己評価

※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	評価		コメント
	R5	R6	
1 管理業務の実施状況	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年各施設ごとに利用調整会議を行うことで、各団体の円滑な施設利用を可能とし、施設の有効活用に努めた。 ・利用者満足度調査の実施及び「ひと声カードポスト」の設置により、施設運営の要望・スポーツ教室等の実施内容について意見を収集し、対応可能な事項については速やかに対応した。利用者アンケートにおいて満足すると回答を得た項目としては「職員の対応」「施設の清潔さ」がいずれも90%以上であり、「予約の受付方法・対応」が約84%であった。 ・情報共有等、業務委託先との連絡を密にしながら、施設の現状を丁寧に把握し、保守点検や修繕等に計画的に取り組むことで、良好な施設管理を行った。 ・緊急事態に対応できるよう、危機管理マニュアルを策定し、火災・地震災害対応訓練を通して危機管理意識の醸成に努めた。また、救急救命講習を通してAEDの取り扱い方法などの実践的な技量を習得し、現場で緊急事態が発生した際に、組織的に適切な対応を行った。 ・利用者サービスが低下しないよう留意しながら、省エネ・節電を徹底し、コスト削減を図った。
2 施設の利用状況	B	B	<p>【三重交通G スポーツの杜 鈴鹿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間利用者数は576,868人であり、目標を上回った。 ・ニーズの高い多種多様なスポーツ教室等を開催することで、全ての県民が生涯の各時期を通じて、日常的・継続的にスポーツを楽しめる環境づくりに取り組んだ。(スポーツ教室開催講座数:487講座、延べ参加人数:27,533人) ・国スポ強化合宿や加盟競技団体の合宿などを積極的に受入れた。 ・スポーツガーデン「Mie Spo Inn」と利用調整を行い、平日の閑散期を中心に大学クラブやスポーツクラブ団体の合宿を積極的に受入れを行ったことで、毎年の利用が定着した。 ・県民がスポーツに触れる機会の充実を図るために、「ガーデンカップ」(6競技)を開催した。(ソフトテニス、ラグビーフットボール、水泳、フットサル、テニス、サッカー) ・ラグビー、サッカー、ハンドボール、バレーボールなど日本のトップチームの公式戦や全国レベルの大会が開催された。 <p>【三重交通G スポーツの杜 伊勢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間利用者数は335,135人であり、令和5年度の利用者数は上回ったが、目標を下回った。 ・主催事業のスポーツ教室を、前・中・後期の三期で実施した。(スポーツ教室開催講座数:115講座、延べ参加人数:1,947人) ・陸上競技場では中学生、高校生を対象とした全国大会が開催されたほか、小・中・高の各カテゴリ別の練習会が盛んに行われた。また、市内小学校の遠足等の受入れ、高校生を対象とした進路セミナーの開催、ロープレスキューの全国大会の開催など、地域との交流を図るとともに、様々な用途で施設を活用した。 ・体育館については、令和6年8月9日に空調設備が故障し、夏季の利用に支障が生じている。学生の夏休みを利用したサークル合宿の利用期間が短縮されたり、定例利用の高齢者団体が利用を控えるなどの影響が懸念される。
3 成果目標及びその実績	B	B	<p>【三重交通G スポーツの杜 鈴鹿】</p> <p>利用人数は目標を上回ることができたが、料金収入は令和5年度より増加したものの、料金を支払って利用する方の伸びが見込みを下回ったことなどから、目標を達成できなかった。</p> <p>【三重交通G スポーツの杜 伊勢】</p> <p>利用人数は令和5年度の実績を上回ったが、体育館において空調設備の故障があったことなどから、目標を達成できなかった。料金収入は目標に対して99.9%とわずかに目標に届かなかった。夏季期間に体育館を定例利用している高齢者団体等が利用を控えたことが一因と思われる。</p>

※評価の項目「1」の評価 :

- 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
- 「B」 → 業務計画を順調に実施している。
- 「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
- 「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」「3」の評価 :

- 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
- 「B」 → 当初の目標を達成している。
- 「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
- 「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総括的な評価	<p>【三重交通G スポーツの杜 鈴鹿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程や時間調整を行い、積極的に大規模大会の開催や競技団体の合宿を受入れた。 ・「ひと声カードポスト」の設置及び利用者満足度調査の実施により、利用者のニーズを把握し、サービスの向上や運営効率の向上に努めた。 ・スポーツガーデン「Mie Spo Inn」と連携して合宿等の受入れを行い、平日の利用促進に取り組んだ。 ・三重とこわか健康マイレージ事業の「マイレージ特典協力店」に登録し、健康増進事業への協力を努めた。 ・利用者サービスが低下しない範囲で省エネや節電等、コスト削減に努めた。 ・県民スポーツへの関心を高め生涯スポーツの拠点施設としての機能を一層果たすため、スポーツを「する」「みる」「支える」といった誰もがスポーツに親しむことができる環境を提供した。利用者のニーズに応じて多様なスポーツ教室を開催した。 <p>【三重交通G スポーツの杜 伊勢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本協会が制定したスポーツ推進計画に基づき、スポーツ施設としての役割を果たすべく、諸事業を推進した。 ・五十鈴公園及び多目的広場の活用、また陸上競技場及び体育館会議室の利活用を積極的に進めた。 ・毎日の点検及び特定建築物点検等の結果により、緊急性のあるものから随時修繕を行い、老朽化が進んでいる体育館、トレーニングセンターについても修繕・改修を行った。 ・ご意見箱の設置及び利用者満足度調査により、利用者の要望や意見を把握し、実施可能なことから取り組んでいる。
--------	---